



ためくに たかとし	
為国 孝敏	
区 分	その他
居 住 地	栃木県
所属・役職	・特定非営利活動法人まちづくり支援センター 代表理事 ・株式会社T.O.パートナーズ 代表取締役

相談方法・連絡先

相談方法	メール及び電話
相談可能日時	ご都合に応じて随時お受けいたします。不在の場合、留守電に入れていただければ返答いたします。
電話番号	0284-64-9248
メールアドレス	tame@pnc.gr.jp

取組の概要

- ・佐野市内の公共交通体系の見直しに際し、交通空白地域において、自ら提案・実現したワークショップの全てに参加し、最前線に立って地域住民と行政との橋渡し役を務め、住民主導による実証運行につなげた。
- ・バス路線再編を検討する市役所職員に対し、デマンド交通や新規路線のスリム化等の指導を実施し、基幹線と支線のネットワーク化やフリー乗車、デマンド運行などを導入し本格運行に導いた。

本人の言葉

少子高齢化社会での地域公共交通は、地域住民の足として地域が協働で走らせる交通手段であることの理解が必要です。そのため、市民、行政ともに従来の公共交通の意識を変えて、まちづくりの持続的な装置とする工夫が求められます。限られた財政負担と少ない需要との折り合いを踏まえて面的なサービスに結びつけるためには、市民の自活と共助の気持ちを創り上げ(コミュニティの再考)、みんなで知恵を絞りながら行動することが安全・安心のまちづくりにも必要と考えています。

略歴等

- 昭和58年4月 社団法人土木学会
- 平成8年4月 足利工業大学工学部 講師(土木工学科)
- 平成9年4月 助教授
- 平成13年4月 教授
- 平成19年4月 特定非営利活動法人まちづくり支援センター 代表理事(現職)
- 平成28年4月 株式会社T.O.パートナーズ 代表取締役

取組の内容、先進性・独創性

- 佐野市では、合併(H17.2)を契機に市内の公共交通体系を見直し。
- 旧町営バスの路線再編では、
 - ・路線を分割して基幹線(1路線)と支線(5路線)でのネットワーク化を図り、
 - ・基幹線は、鉄道駅、バスターミナルとのアクセスを考慮し、
 - ・支線の一部では、地域の実情等に応じ、フリー乗降、デマンド運行などを導入した実験運行を開始(H20.10~H23.3)。H23.4~本格運行。
- 公共交通空白地域(赤見地区)では、
 - ・ワークショップを開催し、
 - ・地域住民の意見を取り入れた路線で、
 - ・利用状況等による撤退も視野に入れた運行の見直しを条件に実験運行(1路線)を開始(H20.10~H23.3)。H23.4~本格運行。
- 市営バスの維持確保、利用促進のため、
 - ・佐野市バス・エコ・サポーターズクラブを募集。
- 地域住民が自らの足を守るという気運を醸成するため、
 - ・市営バスの愛称、キャラクターを公募。

地域の活性化等への貢献度

- 生活の足として、市民バスを利用する人が徐々に増えている。(7路線平均利用者数は、対前年(H21)度比37人/日の増)
- 佐野市バス・エコ・サポーターズクラブの趣旨に賛同する企業が徐々に増えている。(H21.9[10社] → H21.12[13社] → H23.1[17社])
- 市営バスを利用した新しいサービスとして、シルバー人材センターが、高齢者等の買い物サポートサービスを実験中。(H22.4~H23.3予定)
- 地域のイベントとのタイアップによる市営バス無料乗車日には、市営バスの利用者が普段の約2倍(H21,H22実施)となり、利用増のきっかけ作り。

知識・経験・熱意、地域の取組みでの存在感

- 市内の公共交通体系の見直し、旧町営バスの路線再編を行う佐野市の地域公共交通会議及び地域公共交通協議会の委員として、専門的(工学博士)見地から指導、助言を行う。
 - ・公共交通空白地域での実験運行にあたっては、自ら提唱し実現したワークショップの全てに自ら参加し、地域住民には、利用者が伸びないと撤退もあることを、行政には、地域住民の意見を取り入れた路線を認めさせるなど、最前線に立って地域住民と行政との橋渡し役を務める。
 - ・旧町営バスの路線再編では、検討を進める佐野市担当者に対する指導等により、基幹線と支線でのネットワーク化を実現。
 - ・また、本格運行に向けて、実験運行の結果をもとに、デマンド運行の拡大、新規路線のスリム化についても指導等を行う。

先達としての活動

- 栃木県、群馬県の行政機関やまちづくり団体では、指導的立場での経験が豊富。
- 両毛地区各地域でのまちづくり支援、自治体職員に対する研修、シンポジウムのコーディネーター・基調講演などを行う。
- 合併によるバス路線の再編、公共交通空白地域での住民主導による路線運行の取組は、工学博士としての知見と併せて、同様の問題を抱える他地域への参考となりうる。

栃木県佐野市の地域概況

- ・合併により、旧田沼町、旧葛生町の町営バスを継承。(平成17年2月)
→旧町営バスは、そのほとんどが、駅を起点とする長距離・長時間の定時定路線で、運行本数の確保が難しい状況。
→旧佐野市では、市民からの要望もあり、路線開設に向けて検討したが、実現せず。
- ・合併を契機に旧町営バスの再編及び公共交通空白地域の解消のため検討を開始。(平成18年度～)
- ・「佐野市地域公共交通総合連携計画」を策定。(平成20年3月)

栃木県佐野市

(平成17年2月28日、旧佐野市

、
安蘇郡田沼町、同郡葛生町
の新設合併により発足)

面積 356.07km²

人口 124,053人

15歳未満 16,206人

65歳以上 28,461人

世帯数 46,594世帯

高齢化率 22.94%

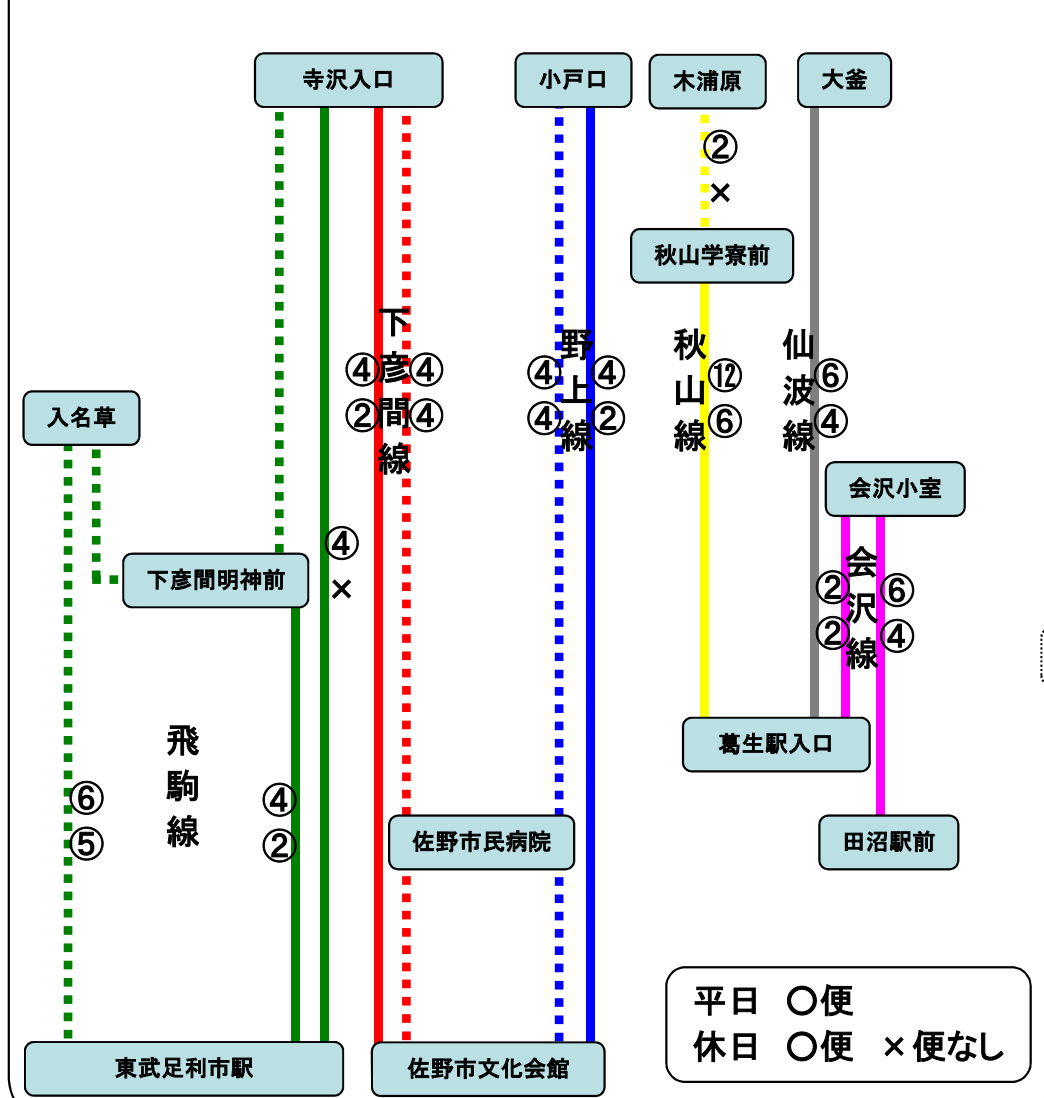
(平成22年4月1日現在)



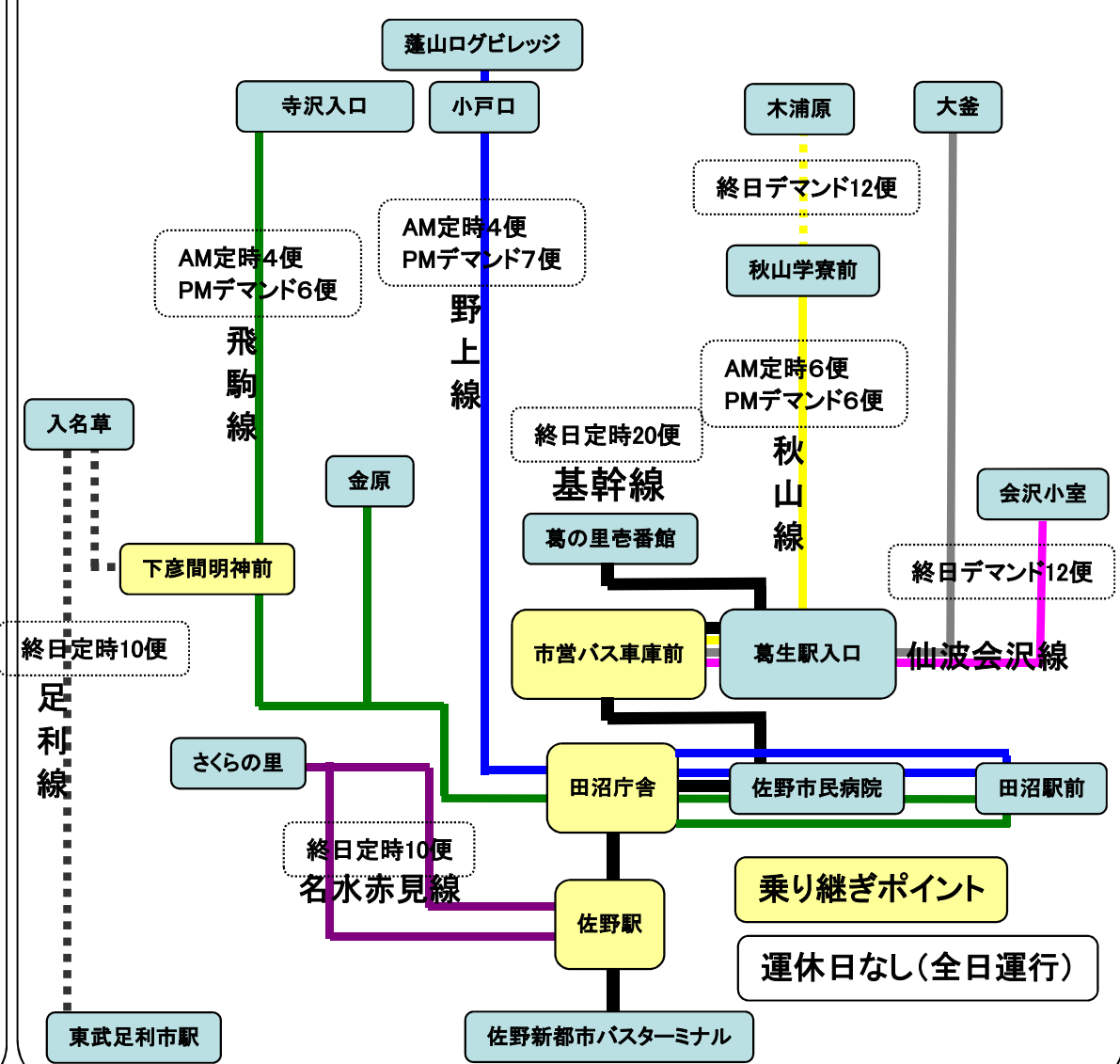
市営バスの路線再編

・旧町営バスの再編及び公共交通空白地域(赤見地区)の解消のため、
 →平成20年10月から実験運行を開始。(～平成23年3月)
 →平成23年4月から本格運行を開始。

路線図【再編前】



路線図【再編後】



公共交通空白地域(赤見地区)における取組み

- ・ワークショップを開催し、
 - 実験運行に地域住民の意見を反映
 - 撤退も視野に入れた運行の見直しをルール化

名水赤見線ワークショップについて

ワークショップでは名水赤見線を対象に、沿線の住民(各町会より3名程度:計34名)が参加し、運行の内容や活用方策を自ら主体となり検討しました。

以下のような内容を地域住民がアイデアを出し合い検討しました。

- ・(仮称)赤見線の路線名
- ・バス停の名称
- ・市営バスの利用促進策
- ・市営バスや公共交通機関を活用した地域活性化策

ワークショップの活動

	日程	検討テーマ
第1回	5月19日(月)	公共交通とまちづくりワークショップの勉強会
第2回	6月5日(木)	(仮称)赤見線の路線などの運行状況を検討しよう!(その1) ・運行経路などをグループワークで検討
第3回	6月23日(月)	(仮称)赤見線の路線などの運行状況を検討しよう!(その2) ・運行経路やバス停位置をグループワークで検討
第4回	7月10日(木)	(仮称)赤見線の路線などの現地調査 ・運行経路やバス停位置の確認
第5回	7月24日(木)	(仮称)赤見線の路線などの運行状況を検討しよう!(その3) ・運行経路やバス停位置、路線名の意見集約・決定
第6回	8月28日(木)	(仮称)赤見線の利用促進につながるアイデアを検討しよう! ・利用促進策などをグループワークで検討 ・交通会議での意見を受けて、便数変更の決定
	10月~3月末	実験運行
第7回	11月20日(木)	実験運行中の活動状況を確認し、改善策を検討しよう!(その1) ・利用状況、課題等の確認 ・改善策などをグループワークで検討
第8回	3月26日(木)	実験運行中の活動状況を確認し、改善策を検討しよう!(その2)



市民バスの維持・確保、利用促進等の取組み(1)

- ・市民バスの維持・確保、利用促進のため
- 佐野市バス・エコ・サポーターズクラブを創設。
- 市民バスの愛称、キャラクターを公募。

法人会員 17社
個人会員 55名
(H23.1.18現在)

佐野市バス・エコ・サポーターズクラブ 法人会員

佐野市建設業協会 佐野市設備業協同組合

安藤勇寿「少年の日」美術館	(有)おぐら屋
エクシードホーム(株)	(株)波里
佐野厚生総合病院	昭和電機(株)
佐野医師会病院	佐野やすらぎの湯
佐野ナーシングクワサキ	長島医院
中央労働金庫 佐野支店	佐野信用金庫
栃木鉦山環境開発(株)	(株)カンケン
(株)エリアプラン	

地域の生活の足であり環境負荷の少ない「バス交通」の維持に協力し、「さーのって号」を応援している法人の皆さまです。

佐野市バス・エコ・サポーターズクラブ

次のような趣旨に賛同していただける方を募集し、「佐野市バス・エコ・サポーターズクラブ」を発足しました。

▼クラブの趣旨

【地域の公共交通の活性化・再生】

- ・高齢者をはじめ地域住民の生活の足であるバス交通の維持確保に努める。
- ・地域住民や観光客の利用しやすいバス路線網の整備に努める。

【環境問題への貢献】

- ・自動車排出ガスや二酸化炭素を削減して、地球温暖化防止に貢献する。
- ・自家用車と公共交通を『かしこく』利用するライフスタイルに転換していく。

▼会費

- ・個人会員:年会費5,000円
- ・法人会員年会費1口10,000円(何口でも可)
- ・子ども会員年会費3,000円

▼会員の特典

【個人会員】

- ・土日祝日の市バス乗車が無料で乗り放題!
- ・平日でも、乗継100円が無料!1日乗車券を500円で販売!(ただし、本証持参人含め家族3人までです。)
- ・その他、定期券購入時に1割引などを予定しています!

【子ども会員】

平日・休日を問わず市バスが乗り放題!!!

【法人会員】

サポーターズクラブのチラシなどに、協力企業として企業名を掲載。

- ・5口以上の法人については、企業名を佐野市ホームページ(バスのページ)上に掲載。
- ・商店会や大規模店舗、その他集客施設(公共施設を含む)での割引などの特典を検討中。

市民バスの維持・確保、利用促進等の取組み(2)

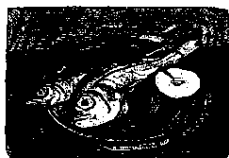
こんな不便を感じていませんか？

- ☆お店に行って買い物したいけど、1人じゃ足腰が不安で・・・
- ☆欲しいものがどこにあるのか、探すのが大変！
- ☆どれを買っていいか迷っても、相談する人がいない。
- ☆お店の中が広すぎて、迷子になりそうで・・・
- ☆誰か一緒にいてくれる人がいれば、心配ないのだけれど。
- ☆1週間に1回だけでもお店に行って夕食のおかずを見てみたい。

買い物サポート 始めました！

シルバー会員とおしゃべりしながら、一緒にお買い物してみませんか？

今晚の夕食は、自分の目で見て選んだおかずにしてみると一味違うかも・・・



当分の間・・・(旧田沼・葛生地区お住まいの方)

毎月先着5組様まで

→サポート料金 無料

→バス代全額負担

→タクシー 600円負担

※簡単なアンケートにご協力をお願いします。

通常サポート料金→800円/1時間
(※1組2名まで)

軽度生活援助券もご利用できます。

【連絡先】

(社)佐野市シルバー人材センター
佐野事業所 電話：23-7765
田沼事業所 電話：62-5544
葛生事業所 電話：85-2581
※「買い物をしたいお店」と「日時」をご連絡ください。会員が指定の場所でお待ちしております。

(社)佐野市シルバー人材センター
買い物サポートチラシより

⑤「無料乗車日」の実施(市内イベントとのタイアップ企画)

普段の生活の中でバスを利用しない方にも気軽にバスが利用できるよう、市内で開催されるまつり・イベント開催日をバスの「無料乗車日」とし、実際にバスを利用してもらい、バス利用に対する意識を持ってもらう、タイアップ企画を実施した。

＜無料乗車日タイアップイベント＞

- ・たぬまふるさと祭り 8月2日(日)
- ・さの秀郷まつり 8月8日(土)、9日(日)
- ・くず原人まつり 8月22日(土)、23日(日)

無料乗車日の利用者数は、普段の土曜日、日曜日・祝日に比べ、土曜日では216%、日曜祝日では192%の乗車率となっており、普段利用しない方も、バス利用をしたものと考えられる。

表 無料乗車日利用状況

	路線合計 利用者数	基幹線	秋山線	仙波 会沢線	野上線	飛駒線	足利線	名水 赤見線
8月2日(日)	277	171	36	10	8	24	9	19
8月8日(土)	395	173	65	9	25	30	22	71
8月9日(日)	320	171	26	3	10	28	21	61
8月22日(土)	409	180	64	8	34	29	35	59
8月23日(日)	312	163	37	6	15	22	16	53
合計	1,713	858	228	36	92	133	103	263
平均	342.6	171.6	45.6	7.2	18.4	26.6	20.6	52.6

表 無料乗車日利用状況 (対普通乗車日割合)

	路線合計 利用者数	基幹線	秋山線	仙波 会沢線	野上線	飛駒線	足利線	名水 赤見線
土曜日	216%	233%	308%	108%	167%	141%	127%	315%
日・祝日	192%	224%	191%	205%	95%	157%	101%	227%

平成21年度第2回
佐野市地域公共交通会議資料より